

# 森林組合だより

平成 21 年 12 月 7 日  
加子母森林組合 発行

## 第 8 代総代 200 名、決まる！

加子母森林組合の総代制度は平成元年から始まり、今回で 8 回目の選挙となりました。総代の任期は 3 年間で、定数は 200 名となっております。各区ごとに選出数が定められています。総代は公職選挙法により選出されます。

今回の総代選挙は 10 月 20 日に告示され、立候補の届出は 10 月 31 日に締め切り、11 月 2 日に選挙管理委員会を開催いたしました。その結果、各区とも定数どおりの立候補があり、総代 200 名は無投票で決まりました。総代の任期は、平成 21 年 11 月 16 日から平成 24 年 11 月 15 日までの 3 年間です。

今、全世界で環境問題に大きな関心が寄せられ、CO<sub>2</sub>の削減が課題となっています。日本では「25%の削減」目標を打ち出し、森林による削減に期待が寄せられています。環境保護、省エネが世界的規模で叫ばれている今、山づくりを通じて環境改善に貢献し、組合発展のために皆様のご指導、ご協力をお願いします。

(裏面に総代の皆さんの氏名を掲載しました)

## 中日新聞販売店「二世研修」今回も加子母の山で実施！

10 月 20 日から 24 日の 5 日間、中日新聞販売店の二世研修が加子母で行なわれました。愛知県、静岡県、三重県から参加した研修生 16 人と講師 3 人が「ふれあいのやかた」で宿泊し、枝打ち、間伐などを体験しました。研修生は 3 ヶ月間、寝食を共にして新聞販売以外の様々なことを学ぶもので、そのうちの 5 日間を加子母の山で過ごしました。

研修生は 20 歳から 40 歳で、地下タビを履くこと、枝打ち、間伐も初めての体験で、ノコギリを折るなどしながらも、森林組合職員の指導を受け一生懸命取り組みました。最終日は木曾越え峠を越えて「中日新聞社国民の森」へのトレッキングを行ない、加子母での研修を終了しました。

研修を終えて、「木を倒したのは初めてで感動した。山の手入れをすることが山を守り、環境を守ることに繋がる。山の仕事はきついが楽しい。またやりたい」などと話していました。



慣れない手つきながら、一生懸命に取り組む研修生たち



### 門松の注文承ります！

門松を希望される方は森林組合へご連絡下さい。(79-3333)

三段枝 1 対 (2 本) 1,000 円  
小枝 (30cm ~ 50cm) (1 本) 100 円

注文受付期間  
本日 ~ 12 月 15 日まで

## 秋の記念市

過去最高の出材「936 m<sup>3</sup>」に高い呼び声

今まで 9 月に行っておりました秋の記念市を 10 月 26 日に行いました。木を伐る時期は秋遅いほうが良く、また値段も期待できることから 10 月に変更しました。

ヒノキ 746 m<sup>3</sup>、スギ 149 m<sup>3</sup>、マツ他 41 m<sup>3</sup>の出材があり、買い方業者 53 人も来場され、盛大な記念市となりました。今回は優良材のコンクールも合わせて行ない、代々丹精こめて育てられた材が多く出品され、どの材も優劣が付けがたく、審査に長い時間がかかりました。



優良材の出来栄えを入念に調べる審査員たち



審査の結果、三浦良三さんが出品されたヒノキ(樹齢 130 年、元玉 6 m、末口 32cm)、内藤厚朗さんのスギ(樹齢 80 年、元玉 4m、末口 52cm)がそれぞれ金賞となりました。

金賞に選ばれた樹齢 130 年のヒノキ。1 m<sup>3</sup>当り 13 万円で落札され、元玉一本が 84,000 円になりました。(左写真)



枝打ち材は、年々太いものが出品されるようになり、芯が中心にあり、早いうちに枝打ちを行ったものが高く評価され、1 m<sup>3</sup>当り 133,000 円で落札されました。枝打ちの部では 5 人の方が入賞となりました。

枝打ちの部で入賞した樹齢 60 年のヒノキ。1 m<sup>3</sup>当り 133,300 円で落札され、この一柵が 246,000 円になりました。(右写真)

入賞されたのは次の方々です。(敬称略)

	ヒノキの部	スギの部
金賞	三浦 良三	内藤 厚朗
銀賞	伊藤 俊彦	伊藤 平一
銅賞	伊藤 潤 中島 富郎	

枝打ちの部	
入賞	桂川 達郎
	熊澤 安彦
	伊藤 勇
	梅田 貢 牧野 三造

### 森林組合年末年始休暇のお知らせ

仕事納め … 12 月 26 日 午前 11 時 (モクモクセンターは 28 日まで営業します)  
仕事始め … 1 月 5 日 午前 8 時

### 薬草の話

**チガヤ** 日当たりの良い河原に群をなし自生する。根茎は白い円筒形で横に長くはいい、ところどころ茎を地上に出す。その根茎を噛むと甘い。根茎を秋から冬にかけて掘り取り、水洗いして日干しにする。これが茅根(ぼうこん)と呼ばれる生薬である。茅根は消炎、利尿薬、止血薬に良いとされ、果糖、ブドウ糖、トルテルペンなどを含む。1 日量 15g を 400cc の水で 3 分の 1 に煎じて、空腹時に 3 回に分服する。(日本薬草新聞より)